

# 慈眼寺

## 整備だより

第六号

平成十五年三月

慈眼寺整備委員会  
委員長 大野 悟

### 「あいさつ」

整備委員長 大野悟

暑さ寒さも彼岸までと申しますが、今年はお陰さまで過ごしやすい毎日が続いております。檀家の皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

「慈眼寺整備だより」も今回で第六号の発行をすることができましたことは、担当の委員さんはじめ、原稿をお寄せいただいた皆様のご支援、ご努力の賜物と厚くお礼申し上げます。さて、檀家の皆様方

には「ご期待ください。」と何度も申し上げて参りました本堂、客殿も立派に完成を致しました。納骨堂だけは昔のままに雨漏り寸前となっており、銅板屋根をかぶせ、内装、外装の工事を行いました。ところ、見違えるようになり、今年正月には工事中の客殿をご覧いただいたと思いが、この客殿より眺める庭園および境内整備の設計を、住職および委員の方々と進めておりました。来年春

頃の完成を予定いたしております。又同じく来年の秋頃には、落慶式・晋山式を盛大に執り行う予定でおります。もう一度ご期待をお願いします。昨年一年を振り返ってみますと、週一回程度現場を確認に行っており、寺社建築について本当に色々勉強させてもらいました。これから檀家の皆様のご意見をいただいたものを基に、ご先祖様や檀家の皆様から喜んでいただけるような整備事業を進める覚悟

でおります。なお、この度浅山町の岡嶋孝子様から焼香台と荘厳幕のご寄付をいただきました。

ご披露方々お礼申し上げます。有難うございました。最後に、春とはいえ寒い日もあります。お体には充分ご自愛いただきませう御願

い致します。



## 仏像考

委員 伊藤秀文

慈眼寺の本堂の、私達が焼香する須弥壇の最上段にご本尊である観世音菩薩と、その右側に不動明王様、左側には四天王のうちの多聞天様の立像が安置されております。三体ともこの度の整備事業にあわせて補修を受け見違えるほどピカピカになり、きれいなお姿で立っております。

ご本尊の観世音菩薩はやさしく慈悲の眼差して私達を見守っております。「通常禅寺のご本尊は、釈迦如来でしかも坐像の禅定相（定印）であらわすことが多くいとされており慈眼寺のご本尊が観世音菩薩である点に注目したい」

と、区画整理事業で発行された「下市場誌」に書いてありますが、いろいろの説があるようです。また、近辺の曹洞宗のお寺でもほとんどがご本尊に観世音菩薩をいただいております。



次に多聞天立像であります。右手に槍を持ち、左手に宝灯をかざして目を見開き、この世の諸悪邪鬼から私達を守ってくださいっています。むかし聖武天皇は光明皇后との間に生れた王子が一歳で亡くなったのを大変悲しまれ、若草

山の深くに鐘受寺というお寺を建てて王子の御霊を祀り供養されました。そして王子の御霊を邪鬼の侵入から守るために寺の四隅に四天王像を配されたのです。この四天王とは持国天、増長天、広目天それに多聞天をいいます。後、これらの四天王像は、東大寺戒壇院というところに収められ国宝として安置されています。



わが慈眼寺には、この四天王のうちの多聞天が仏法の守りとして立っておりますのです。因

みに、七福神の一人である毘沙門天はこの多聞天のことです。最後に、不動明王は右手に剣、左手に索縄を持ち火炎の中に立つておられます。心の内外の悪魔をはらうということで弘法大師が私仏として大変敬っております。



さて、慈眼寺の本堂に入りますと、須弥壇上段のこれら三体の仏様のお姿が目に入ります。すると自然に手が合わさり敬虔な気持ちになつてまいります。大変幸せなことだと思えます。

## 義民宇平のこと

委員 伊藤忍

慈眼寺山門の西側に戦没者のお墓が一行に並んでおり、その一番右端に小さめで質素なお墓があります。誰かが手向けてくれるのでしよう、絶えず露地の花が飾られていきます。墓石は風化が進んでおりますが、かすかに「孤嶽儀峯信士」と「忍興操貞信女」と読む事ができます。



これが宇平翁のお墓であり、過去帳に寄れば、没年は翁が明治七年八月十一日、妻と思われる信女は嘉永五年十一月

六日となっております。

明治のはじめ、金ヶ口池付近の官有林の不法伐採の咎で村中大騒ぎになりました。何人かの村人達が旧水野代官所へ勾引され、厳しい取調べを受けたが誰も自白しませんでした。しかし連日の詮議に百姓仕事も手につかず村人たちは困り果てました。

一説によると、伐採木材は慈眼寺の本堂など再建の用に充てられたものともいわれますが定かではありません。

この度の整備事業で、本堂の解体のとき出てきた旧棟札には、嘉永七年の年号があり、また庫裏も引き続いて建築されたようですから、件の伐材が慈眼寺に使われたとしても、事件から既

に十四、五年してから探索が始まったことになりません。この辺のいきさつは、杳として分かりませんが、未熟な新政府の能無し役人が手柄稼ぎにでっち上げたものではないかとも思いたくありません。

ともあれ、村中は困り果てて宇平翁に白羽の矢を立て、自首する事を懇願したのではないのでしょうか。妻は既に二十年前に亡くなり、後に残る盲目の娘は村で責任を持って面倒を見るという条件で自首させたのでしよう。惨い話だが当時としてはこれしか選択はできなかつたのであるろう。百叩きなどの拷問にも負けず、自分ひとりの犯行であると言

七年には牢死してしまいました。事件発覚後約五年の結末です。村人は亡骸を手厚く弔いましたが、一人となった盲目の娘の面倒をみる人も次第になくなり何時ともなく行方不明になったようです。雪国に連れて行かれて、瞽女になってしまったかと思うと慄然となります。

また、お宮の裏辺りに盲目の娘さんが一人で住んでいたのを幼い頃見たことがあるというおばあさんの話を聞いたことがあります。その娘が不明になつて村にはいろんな不幸な出来事が続き、宇平の祟りだとされて、早速お寺で特別供養をして、翁の霊と行方不明の娘に詫びたということです。

写真集

完成した客殿の写真を  
お目  
に  
かけ  
ます。  
ま  
ず  
は  
玄  
関



主座敷



襖をはずすと大広間



広間でのご詠歌練習



玄関ホール



玄関ホールの章駄天様



慈眼寺の本堂・客殿と同じ国産の最高級木材を使って 格安で一般建築も  
請け負います ぜひご相談ください

桧のにおいのする本格的な木造住宅

有限会社 **田辺建設** 電話 0533-86-5475



納骨堂への渡り廊下



屋根の載った納骨堂



納骨堂内部



納骨堂入口



**御詠歌のお誘い**

新しい客殿で御詠歌練習が出来るようになりました。  
この機会に新しい受講者を募集します。  
詳しくは、一度お寺まで見に来てください。

**お知らせ**

今年から灌仏会を執り行います。お釈迦様の誕生を祝う行事です。  
日時… 四月八日十時  
場所… 本堂

**エイブル**

**アパート  
マンション  
店舗、事務所  
売買**

F C 勝川店  
**大島 安次郎**  
代表取締役  
宅地建物取引主任者

**株式会社光コーポレーション**  
春日井市八光町1丁目17番地  
〒486-0916  
TEL 0568-36-2333 FAX 0568-36-2332  
愛知県知事(1)第18279号  
携帯:090-1827-0731

## 寄付勧進報告

会計 伊藤久幸

皆様方のご寄付により立派な本堂と客殿が完成しました。ご協力に感謝しております。

寄付申込は、三、八九五口（一億九、四百七十五万円）で、三月三日現在一億九、二百六十万円（約九九%）の振込みをいただきました。

支払いにつきましては、本堂関係が一億二、九五三万円、客殿・納骨堂関係が五、五七五万円です。

以上のように、会計事務も皆様のご協力をいただき、順調に進んでおります。この三月末をもって何とか終わりにこぎつきたいと思っておりますのでよろしく御願致します。

## 和尚敬白

住職 春日井浩道

彼岸も終わり、風も春めいてきたと思つたらもう桜の便りです。

まだ契約から二年も経つていないのに、建物はもう完成してしまいました。本当に、ばたばたオロオロしている間の出来事のようにです。委員長はじめ皆様方のご尽力、ご支援のお陰と肝に銘じております。

彼岸の中日には、皆さんに客殿を見てもらいました。喜んでいただけましたので、役員の方々とともに、あらためて感激いたしました。どうやら、これなら後世の人達からも満足して使ってもらえるのではないかと思っております。

先号の伊藤安彦委員の記事で「傘松閣」とあるのは、「三松閣」の誤りでした。タイプミスでした。訂正してお詫びします。

## 編集後記

毎号委員長の挨拶には、工事の進捗状況はもとより、この先予想される計画についても出来る限り書いてもらうようにしております。したがってこれが簡潔な事業報告と事業計画になつていくはずですが、

それに今回は、古い仏像や村に伝わる宇平翁のことも書きました。これは、旧本堂解体の折に住職が百五十年前に本堂を建立した村人達の労苦を、血と汗の結晶と偲ばれ、宇平翁の逸話に

ついても「だより第二号」で述べられたことに感銘したからです。とにかく、平成の世にだんだんと整備されていくお寺を眺められるのは大変幸せなことだと思います。それでは次号も皆さんからの原稿をお待ちいたしております。（編集子）

「慈眼寺整備だより」第6号  
発行日 平成15年3月30日  
発行人 春日井市下市場町5-7  
慈眼寺整備委員会  
委員長 大野悟  
編集 庶務 伊藤忍  
連絡先 電話 0568 81 6801